

はじめに

愛媛県教育委員会では、平成30年2月に、教員のキャリアステージにおける指標を作成しました。愛媛県総合教育センターでは、その指標に基づき、研修体系を見直し、各種研修講座を実施してきました。その中で、教員の資質・能力を更に高めるために、指標に基づいた効果的な研修の在り方はどうあるべきかという課題が生じました。

また、令和2年度から、小学校では新学習指導要領が全面実施され、新たにプログラミング教育や教科としての英語学習が始まります。これらの新しい教育内容や教科にどのように対応し、授業を進めていけばよいのか。さらに、不登校生徒への支援や特別支援学級における自立活動の指導はどのようにすればよいのかなど、喫緊の課題への対応が、当教育センターに求められています。

そこで、平成30年度、令和元年度の2年間にわたって、「輝く^{えがお}愛顔あふれる学校教育への総合的な支援」という研究主題の下、教員の資質向上に関する研究、喫緊の課題の解決に関する研究、新学習指導要領の理念の具現化に関する研究の3本柱で調査・研究に取り組んできました。

1年目の調査・研究の成果と課題に基づき、今年度の調査・研究を更に進め、2年間の成果を研究紀要としてまとめることができました。また、2名の長期研修生が1年間取り組んだ研究内容も掲載しております。私どもの調査・研究の成果を、先生方の日々の教育活動において御活用いただくとともに、今後の当教育センターの調査・研究の進展のために忌憚のない御意見をお聞かせいただければ幸いです。

本研究紀要でお示ししました研修用資料、各種シート、ガイドブックなどは、当教育センターのホームページにてダウンロードできるようにいたしますが、これらの資料等は、あくまでも一つの型にすぎません。どうか目の前の園児・児童・生徒の実態に合わせて、より有効なものとなりますよう工夫を加えていただき、より良いものへと改良し、校内にまた他校へと普及していただけたらと思います。

最後に、2年間の調査・研究を進めるに当たり、御協力と御支援をいただきました研究協力学校並びに研究員の皆様に心からお礼を申し上げます。

令和2年3月

愛媛県総合教育センター所長 水田 寿